

第10-G2号 2010年6月8日

# わかりやすい箱根エリアの路線バス利用を目指して **箱根エリアバス路線の系統記号化を実施します**

- 箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏事業の一環として推進 -

小田急グループの箱根登山バス株式会社(本社:神奈川県小田原市 社長:伊藤 悦充) 小田 急箱根高速バス株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:浜武 喜久雄)ならびに株式会社沼津登 山東海バス(本社:静岡県沼津市 社長:大塩 喜久夫)では、伊豆箱根バス株式会社、箱根町と 連携し、2010年6月15日(火)より、バス路線の系統記号化と色分けを実施します。また、 これに合わせ、一部のバス停名称を変更します。

従来から、箱根エリアのバス路線は、路線や便数が充実している一方、ルートが複雑で、複数の会社路線が同じ区間を運行していることなどもあって、初めてご利用される方を中心に「どのバスが利用できるのか分かりにくい。」などのご意見がありました。また、近年、海外からの箱根への観光客数は増加傾向で、より一層快適に旅行をお楽しみいただくためにも、鉄道からの二次交通であるバス路線の利便性を向上させる必要性が高まっています。

こうした中、今般、箱根エリア内のバス事業者である西武グループの伊豆箱根バスや箱根町と連携したバス路線ごとの系統記号化(アルファベット記号)と色分けを実施するとともに、一部のバス停名称を変更することとしました。

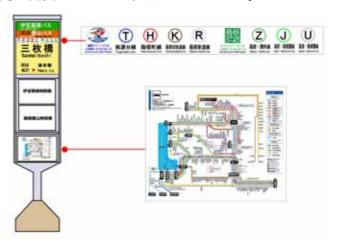
なお、本件については、本年度より「観光圏整備法」に基づく新しい観光圏として、国土交通大臣に認定された「箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏」整備事業(推進協議会会長:財団法人箱根町観光協会理事長 数馬 勝)の一環として実施いたします。

小田急グループでは、今後も「わかりやすい箱根、まわりやすい箱根」の実現に努め、観光地と しての魅力を高めてまいります。

バス路線の系統記号化と一部バス停名称の変更の概要については、次のとおりです。



運転席前に路線記号を表示するとともに、 可能な車両については、LED行き先表示に 路線記号を表示(写真はイメージ)



バス停留所には、そのバス停を経由する路線名を 記号で表記するとともに、全路線図も掲出

## 1.路線系統記号化について

## (1)概 要

箱根山内を運行するバス路線を系統ごとに、記号(アルファベット)と色により表示します。 記号と色は、ターミナル、バス停などでの路線表示、車体表示板等にも取り入れてまいります。 別紙の路線図をご参照ください。

箱根フリーパスをご利用いただけるバス路線は、箱根登山バス、小田急箱根高速バス(指定区間) 沼津登山東海バス(指定区間)で、「箱根フリーパスがご利用いただけるバス」としてバス停に表示します。

羽田線(V路線)につきましては、小田急箱根高速バスと共同運行しております京浜急行バスも同様に車両への表示をいたします。

## (2)実施予定日

2010年6月15日(火)

諸準備に時間を要するものは、この期日より前に着手する場合もあります。

## (3)主な告知方法等

各停留所のバス路線表示(約450箇所)

バス車体用表示板(約235個)

ターミナル、案内所用案内表示板(約40箇所)

5言語対応案内用パンフレット(日本語、英語、ハングル語、中国語[簡体字 繁体字])

~ の( )内数量については伊豆箱根バスとの合計です。

#### 2 . バス停名称の変更について

## (1)变更内容

箱根の代表的な観光施設である「箱根関所」への最寄りバス停であることをわかりやすくするため、箱根登山バス、沼津登山東海バスならびに伊豆箱根バスの現行バス停「関所跡入口」を「箱根関所跡」に変更します。

対象会社、新旧バス停名称

会社名	新バス停名	現行(旧)バス停名
箱根登山バス	箱根関所跡	関所跡入口
沼津登山東海バス	箱根関所跡	関所跡入口
伊豆箱根バス	箱根関所跡	関所跡入口

## (2)変更開始日

2010年6月15日(火)

以上

